

**製品名: HIPK4 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab12036**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

**抗原情報**

遺伝子名	HIPK4
別名	HIPK4; Homeodomain-interacting protein kinase 4
遺伝子 ID	147746.0
SwissProt ID	Q8NE63
免疫原	抗血清はヒト HIPK4 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 511-560

**背景**

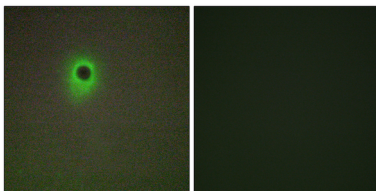
ホメオドメイン相互作用タンパク質キナーゼ 4 (HIPK4) ホモサピエンスこの遺伝子は、ホメオドメイン相互作用タンパク質キナーゼ (HIPK) ファミリーのタンパク質のメンバーをコードしています。このファミリーの他のメンバーは脊椎動物全体に見られますが、

このメンバーは哺乳類にのみ存在します。このファミリーの他のメンバーと比較して、コードされているタンパク質は核局在シグナルとC末端自己阻害ドメインを欠いています。コードされているタンパク質はキナーゼ活性を示し、腫瘍抑制タンパク質 p53 をリン酸化する可能性があります。[RefSeq 提供、2016年7月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: ヒト TP53 の Ser-9 をリン酸化して、BIRC5 プロモーターの TP53 抑制を誘導するタンパク質キナーゼ (類似性による)。転写因子のコリプレッサーとして作用する可能性がある。PTM:自己リン酸化。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属する。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。HIPK サブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。、

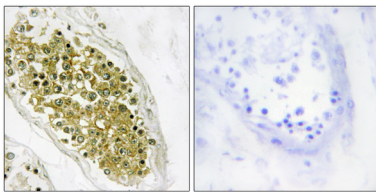
## 研究分野

-

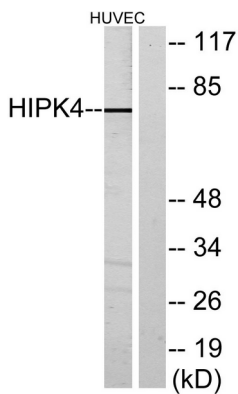
## 画像データ



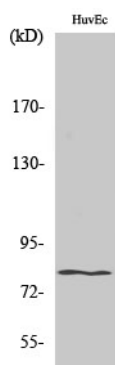
HIPK4 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HIPK4 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト精巣組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



HIPK4 抗体を用いた HUVEC 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



HIPK4 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析

